

「年金業務システム（フェーズ2）の設計・開発に係る管理支援等業務（設計管理に係るアーキテクチャ管理支援）一式」 調達仕様書（案）に係る意見等に対する回答

令和4年6月

日本年金機構

刷新プロジェクト推進室

標記について、意見を募集したところ、以下のようなご意見等をいただきました。お寄せいただいたご意見等とそれに対する回答は次のとおりです。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
1		2 (1) (ア) 規約等 3 アーキテクチャ管理に必要な基準やルール手続きの作成・更新	質問	（趣旨：アーキテクチャ管理支援の役割の確認） 大規模かつマルチベンダ体制での開発においては、全体アーキテクチャ統制が重要であると認識しております。上記前提のもと、「規約等アーキテクチャ管理に必要な基準やルール手続きの作成・更新」において、アーキテクチャ管理支援は、業務・システム特性およびアーキテクチャ仕様書を踏まえ、標準化・効率化、保守性等に資する基準やルールを定め、WG運営等を通じてアーキテクチャ統制をかけていくことが求められるものと認識しておりますが相違ないでしょうか。	ご認識の通りですが、アーキテクチャ管理支援に機構として期待する役割を明確にするため、委託業務の内容を修正いたします。
2	別紙1 支援 調達役割分担表 1,2	項番 25,30,32,34, 36,38,40,44, 46,55	提案	左記資料の項番において、「・・・技術的知見に基づき、意見出し等をする。」「・・・開発受注者の説明内容に対する意見出しをする。」「・・・開発受注者へ意見出しをする。」との記載が複数箇所（主に各種会議）にございました。 現在の記載でございますと、支援業者と契約関係にない開発受注者への直接的なコミュニケーション及び作業依頼が発生する可能性があるように誤解を招く可能性があるため、修正いただくのが望ましいかと考えます。 具体的にどのように修正するかにつきまして一案をご提案させていただきます。 刷新プロジェクトを通じて発生する発注者様が主導的に行うべき課題の解決を支援業者の高度なITスキル、技能を駆使して解決に導くことが本来の支援業者に期待される役割と拝察いたします。 このため、役割分担表に各種会議で発生するさまざまな課題に対し、技術的知見に基づく解決策の提案を機構職員様へ行うといった内容に修正いただくことにより、支援業者に期待していることが伝わるものと考えております。 記載の見直しをご検討いただけると幸甚に存じます。	支援業者には、機構職員とともに会議に参加してもらい、各種会議で協議する課題内容や解決方針の妥当性について技術的な知見から問題ないか、適切な内容であるかという観点で、発注者側の立場で機構に代わって発言していただくことを想定しています。「・・・意見出し」という表現については、見直しさせていただきます。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
3	別紙1 支援 調達役割分 担表 4	項番125	質問	現新一致テストの計画の作成が開発受注者になっておりますが、サブシステム横断的に現新一致テストを進めることを前提とした場合、発注者様主導で計画して進める工程であると考えております。 各サブシステム毎にそれぞれで独立して進めることが可能というご判断で各サブシステムの開発受注者がそれぞれで現新一致テストを実施するというお考えでよろしいか、ご見解の方ご教示願います。 （また、現新一致テストの環境構築に係る調整については現行システムとのデータの断面を合わせる必要があるため、発注者様が担わないと実現が困難に思います。）	現新一致テストについては、全3ステップに分割し実施することを想定しております。現新一致テストの進め方に関する全体方針として、「要件定義書」及び「現新比較検証実施方針書」に発注者としての方針を記載し本格開発工程の本公示にて提示予定です。 現新一致テストの全体方針は発注者で策定いたします。それを受けて各サブシステムの作業計画は個別に各サブシステムごとに作成していただく想定です。 なお、第1ステップは各サブシステムごとに独立して進めること想定していますが、第2、3ステップは各サブシステム毎に独立して進めることが出来ないため、発注者主導で各サブシステムの開発受注者のご協力の下実施する想定です。 また、現新一致テストの環境構築に係る調整の内、現行システムの調整は発注者が担う想定です。
4	仕様書 （案） 6 別紙1 支援 調達役割分 担表 2	2（1） （ウ）a 項番50	質問	品質評価会議関連の作業について、アーキテクチャ管理が主幹として記載されています。工程管理、アーキテクチャ管理、業務アプリケーション設計管理の分類においては、各開発受注者の成果物に対する品質評価の取りまとめを行う作業は、一般にプロジェクト全体の管理を担う工程管理に該当する作業と考えられますが、その点につきまして機構様のお考えをご教示ください。	各サブシステムの品質評価については、各開発受注者が品質分析、改善策の立案を実施し、品質評価報告書（個別）を作成していただくとともに、発注者（業務G）において品質評価報告書（個別）の確認及び評価をします。その上で、品質管理を担うアーキテクチャ管理がシステム全体としての品質分析、改善策をまとめ、品質評価報告書（総括）の作成を実施します。 ただし、品質評価会議の開催及び進捗に係る作業については、会議開催に向けた関係者間の調整及び会議の議事進行を担うものであるため、工程管理が担当します。 これらを踏まえて、役割分担について見直しさせていただきます。